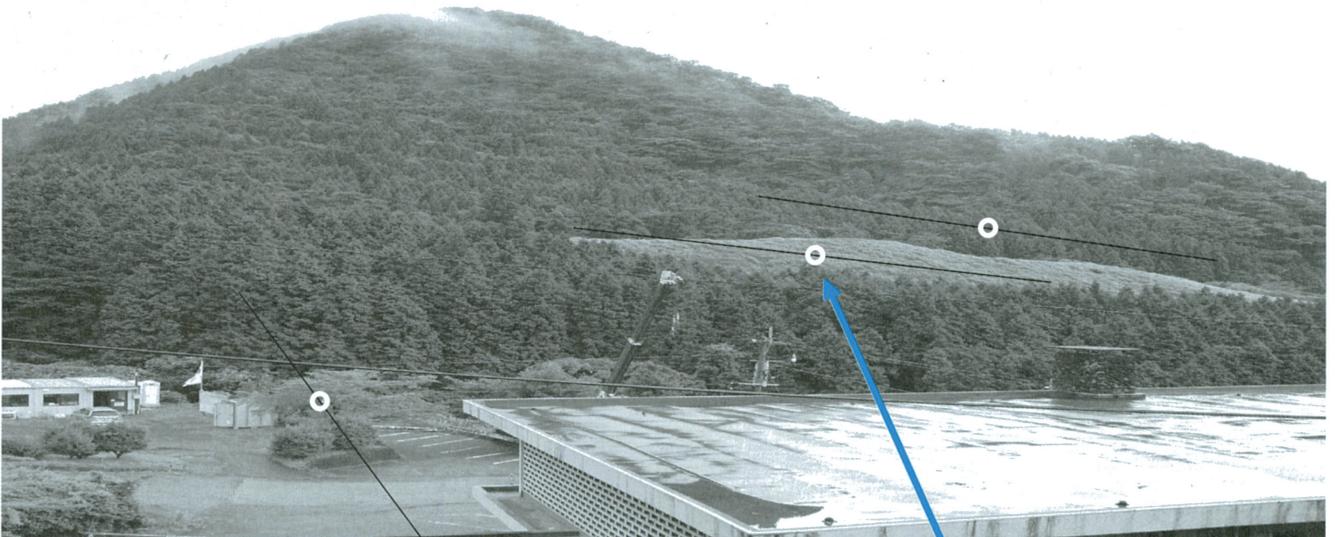


# 6月補正＝地獄垂玉地区水源調査に1千3百万円！



県が行なっている地滑り対策工事箇所

今回の水源調査は、現在県工事として行なわれている地滑り工事により同地区への引水が枯れる可能性があることと、すでに閉鎖している国民宿舎の活用を行なうため必要不可欠の調査として一般会計の補正予算として1300万円が計上されたものです。



**企画観光課** 3ヶ所の有望な所を電気探査して、30m試掘する、そしてそこが本格的に大丈夫という結果がでたら本掘していく。最高140mまでの掘削を計画している。

電気探査は、丸いポイントがあり、そのポイントからそれぞれ左右に100mずつ調査を行なう。電気探査や試掘は1ヶ所×3という費用ではなく、その一帯を調査することになれば1ヶ所でも、3ヶ所でも費用的に探査の数に応じてかかるものではない。一番有効な場所を見付けるには、何ヶ所か一緒に探査をすることが望ましい。

**Q 今村英勝議員** 水の確保が必要なことは十分に理解できるが、委託費用はどういう試算でこの額になっているのか。また、旧国民宿舎の買い手があるならそちらを急いだらと思うが、村の考えはどうか？

**Q 小堀孝二議員** 積算額の考えと、地滑り工事の被害が出た場合については、県の責任でやっていただき、この水源調査については継続審査の必要があると思うがどうか？

**A 村長** 地滑り工事との関連は、県とも十分に協議を行なってきた。水の枯渇等そういう事態があれば県として補償するが、事前対策については村の協力が望まれている。

また、旧国民宿舎の利用については、このままでいくと施設を取り壊さなければならなくなり、その費用も3千万円以上になると思われる。しかし、何とか利用できるうちに売却して、費用がかからない形で少しでも雇用につなげるならばと考えている。併せて本地域の将来的な水の不安を解消するためにも緊急かつ必要な予算として計上させていただいた。